

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 GMB(株)

コード番号 7214 URL <http://www.gmb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 松岡 信夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 阪口 有一

TEL 0745-44-1911

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,901	△49.6	△147	—	△1	—	2	△99.5
21年3月期第1四半期	9,723	—	759	—	819	—	437	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	0.44	—
21年3月期第1四半期	83.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	33,102	17,142	43.1	2,739.89
21年3月期	33,363	17,009	42.5	2,719.73

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 14,279百万円 21年3月期 14,174百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	17.50	—	12.50	30.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,600	△41.9	50	△96.6	△50	—	△70	—	△13.43
通期	25,200	△29.4	550	△3.2	300	△50.9	100	△83.3	19.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	5,212,440株	21年3月期	5,212,440株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	733株	21年3月期	733株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	5,211,707株	21年3月期第1四半期	5,211,831株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における経済状況は、2008年秋からの金融危機が各国・地域の財政出動や金融政策により安定し、最悪期を脱したものとみられております。わが国においても生産や輸出が下げ止まり、景気が底入れしたとの見方が多い一方で、雇用や個人消費の面での不安は取り除かれておりません。また、自動車業界においても、各国・地域の景気刺激策や新興国需要により生産調整局面から脱却しつつあります。

このような環境の中、当社グループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において既存顧客との関係を強化しつつ販路を拡大するなど販売強化に努めましたが、補修用部品市場における買い控えが継続するとともに新車用部品における販売の本格的な回復には至りませんでした。また、急激な需要の減少に対応すべく、固定費の削減やグループ各生産拠点の生産性向上など体質を強化すべく尽力致しました。

さらに、韓国ウォンの下落など在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も加えた結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高が4,901百万円（前年同四半期比49.6%減）となり、営業損失は147百万円（前年同四半期営業利益759百万円）、経常損失は1百万円（同経常利益819百万円）、四半期純利益は2百万円（前年同四半期比99.5%減）となりました。

当グループは単一セグメントであり、主要な品目分類別の販売状況を説明しますと、次のとおりであります。

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、欧州向けユニバーサルジョイントや韓国新車用部品市場におけるバルブスプールの販売が減少したことなどにより、売上高は1,967百万円（前年同四半期比57.3%減）となりました。

エンジン部品部門は、補修用市場におけるウォーターポンプの販売減少などにより、売上高は1,402百万円（同46.3%減）となりました。

ベアリングその他部門は、韓国子会社が生産するテンショナー・アイドラー・ベアリングの新車用・補修用部品両市場での販売が減少したことなどにより、売上高は1,531百万円（同38.8%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

欧州向けの新車用部品の輸出が減少するとともに、海外補修用部品市場においても販売は低調に推移しました。縮小する需要規模に対応すべく海外生産移管による生産合理化や経費削減などによる体質強化に取り組んだ結果、売上高1,856百万円（前年同四半期比47.1%減）、営業損失101百万円（前年同四半期営業利益395百万円）となりました。

#### ②北米

連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.においては、比較的安定した米国補修用部品市場のなかで販路拡大に取り組んだ結果、売上高631百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業損失16百万円（前年同四半期営業損失41百万円）と業績は改善いたしました。

#### ③アジア

連結子会社のGMB KOREA CORP.においては、韓国自動車メーカーや系列部品メーカー向けの販売が減少したことに加え、円高韓国ウォン安の為替変動により円換算後の売上高は減少しました。また、他の連結子会社を含め、高止まりしていた原材料価格の下落や生産性の向上、固定費削減などに取り組むことにより収益は改善傾向にあります。しかしながら、販売の落ち込みを吸収するには至りませんでした。これらの結果、売上高2,413百万円（前年同四半期比57.2%減）、営業損失43百万円（前年同四半期営業利益353百万円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は33,102百万円となり、前連結会計年度末に比べて261百万円減少いたしました。純資産は17,142百万円で、自己資本比率は43.1%となりました。

当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は397百万円(前年同四半期比24.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が25百万円(同97.0%減)、減価償却費が456百万円(同18.6%減)となったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は729百万円(同26.6%減)となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が322百万円(同29.0%減)、貸付による支出が250百万円(同5,578.7%増)となったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は343百万円(前年同四半期は147百万円の獲得)となりました。これは主に、短期・長期借入金による資金調達で446百万円減少(前年同四半期は347百万円の増加)したことなどによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、前回決算発表時(平成21年5月14日)に公表しました業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも変更はありません。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,133,564	4,602,528
受取手形及び売掛金	3,816,990	4,140,346
商品及び製品	1,839,217	1,974,252
仕掛品	3,308,932	2,973,951
原材料及び貯蔵品	1,305,180	1,477,850
未収還付法人税等	127,021	120,748
繰延税金資産	155,662	105,645
その他	1,047,686	618,803
貸倒引当金	△51,443	△48,082
流動資産合計	15,682,813	15,966,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,550,152	3,296,884
機械装置及び運搬具（純額）	6,515,741	6,418,326
土地	5,235,382	5,272,877
建設仮勘定	684,675	975,946
その他（純額）	396,566	382,119
有形固定資産合計	16,382,519	16,346,154
無形固定資産		
のれん	48,059	54,925
その他	190,079	197,546
無形固定資産合計	238,138	252,472
投資その他の資産		
投資有価証券	213,043	92,512
繰延税金資産	346,415	354,697
その他	258,169	373,624
貸倒引当金	△18,497	△21,534
投資その他の資産合計	799,130	799,300
固定資産合計	17,419,788	17,397,927
資産合計	33,102,601	33,363,971

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成21年6月30日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,663,455	2,686,484
短期借入金	3,609,001	4,077,586
1年内返済予定の長期借入金	2,539,657	2,309,867
未払法人税等	59,200	60,500
繰延税金負債	176,764	169,421
賞与引当金	61,924	149,376
製品保証引当金	105,941	157,486
その他	1,488,174	1,440,039
流動負債合計	10,704,121	11,050,761
固定負債		
長期借入金	3,033,335	3,221,898
繰延税金負債	44,963	42,356
退職給付引当金	1,200,076	1,233,431
役員退職慰労引当金	240,300	233,900
負ののれん	118,736	126,157
その他	618,470	445,688
固定負債合計	5,255,882	5,303,432
負債合計	15,960,003	16,354,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	838,598	838,598
資本剰余金	988,000	988,000
利益剰余金	13,996,859	14,059,716
自己株式	△1,662	△1,662
株主資本合計	15,821,795	15,884,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,834	△14,911
為替換算調整勘定	△1,534,448	△1,695,300
評価・換算差額等合計	△1,542,283	△1,710,211
少数株主持分	2,863,086	2,835,337
純資産合計	17,142,598	17,009,777
負債純資産合計	33,102,601	33,363,971

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	9,723,824	4,901,688
売上原価	7,638,970	4,185,213
売上総利益	2,084,853	716,475
販売費及び一般管理費	1,325,212	863,481
営業利益又は営業損失(△)	759,640	△147,006
営業外収益		
受取利息	7,373	3,796
為替差益	96,813	161,182
受取保険金	1,815	11,137
負ののれん償却額	—	14,024
その他	25,408	22,892
営業外収益合計	131,411	213,034
営業外費用		
支払利息	53,009	54,477
手形売却損	8,555	10,365
その他	10,379	2,990
営業外費用合計	71,945	67,832
経常利益又は経常損失(△)	819,107	△1,804
特別利益		
固定資産売却益	816	1,672
貸倒引当金戻入額	19,626	—
持分変動利益	20,381	1,221
製品保証引当金戻入額	—	27,642
その他	7,069	—
特別利益合計	47,894	30,535
特別損失		
固定資産売却損	—	1,439
固定資産除却損	2,114	1,315
特別損失合計	2,114	2,755
税金等調整前四半期純利益	864,886	25,975
法人税等	264,357	△19,686
少数株主利益	163,143	43,372
四半期純利益	437,385	2,289

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	864,886	25,975
減価償却費	560,501	456,484
のれん償却額	6,865	6,865
負ののれん償却額	—	△14,024
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19,976	1,288
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△132,768	△87,451
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	228,252	△1,892
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,247	△43,915
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,800	6,400
受取利息及び受取配当金	△8,815	△4,422
支払利息	53,009	54,477
為替差損益 (△は益)	287,495	△221,495
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,298	1,082
売上債権の増減額 (△は増加)	406,178	314,982
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△679,962	113,681
仕入債務の増減額 (△は減少)	△586,488	△33,959
その他	△115,814	△96,600
小計	869,216	477,476
利息及び配当金の受取額	10,672	2,107
利息の支払額	△49,262	△55,482
法人税等の支払額	△304,907	△26,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	525,719	397,531
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△187,990	△87,467
定期預金の払戻による収入	173,090	—
有形固定資産の取得による支出	△453,918	△322,086
有形固定資産の売却による収入	3,916	7,913
無形固定資産の取得による支出	△34,360	—
投資有価証券の取得による支出	△14	△108,989
投資有価証券の償還による収入	—	1,150
子会社株式の取得による支出	△502,391	—
貸付けによる支出	△4,414	△250,677
貸付金の回収による収入	5,778	3,382
その他	6,702	27,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△993,602	△729,068



(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,476,328	1,706,611
短期借入金の返済による支出	△1,145,348	△2,187,339
長期借入れによる収入	660,000	680,034
長期借入金の返済による支出	△643,561	△646,106
セール・アンド・リースバックによる収入	—	403,296
リース債務の返済による支出	△32,768	△236,386
配当金の支払額	△86,538	△63,423
少数株主への配当金の支払額	△80,019	—
自己株式の取得による支出	△125	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	147,966	△343,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	△121,842	39,695
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△441,759	△635,156
現金及び現金同等物の期首残高	3,332,081	3,630,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,890,321	2,995,260

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当社グループは自動車部品のメーカーとして、同一セグメントに属するウォーターポンプ及びユニバーサルジョイント等の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社グループは自動車部品のメーカーとして、同一セグメントに属するウォーターポンプ及びユニバーサルジョイント等の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,511,064	572,780	5,639,979	9,723,824	—	9,723,824
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	699,116	4,348	1,509,220	2,212,686	(2,212,686)	—
計	4,210,181	577,129	7,149,200	11,936,510	(2,212,686)	9,723,824
営業利益 (または営業損失 (△))	395,805	△41,381	353,065	707,489	52,151	759,640

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,856,622	631,409	2,413,655	4,901,688	—	4,901,688
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	794,878	2,268	1,069,470	1,866,617	(1,866,617)	—
計	2,651,501	633,678	3,483,125	6,768,305	(1,866,617)	4,901,688
営業利益 (または営業損失 (△))	△101,339	△16,637	△43,629	△161,607	14,600	△147,006

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ

(2) 北米・・・アメリカ

3. 会計処理の方法の変更

前第1四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第1四半期連結会計期間の日本の営業利益が27,508千円減少しております。

#### 4. 追加情報

##### 前第1四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当社の機械装置については、従来、耐用年数を2～12年としておりましたが、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より2～9年に変更しました。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比較して、当第1四半期連結会計期間の日本の営業利益が14,419千円減少しております。

[海外売上高]

##### 前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	5,868,961	845,457	1,434,423	8,148,842
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	9,723,824
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	60.4	8.7	14.7	83.8

##### 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	2,692,565	817,667	660,092	4,170,325
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	4,901,688
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	54.9	16.7	13.5	85.1

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しています。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア・・・韓国、中国、タイ等
- (2) 北米・・・アメリカ、カナダ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。